

出張 報告書

医療機器技術・部材展示会「COMPAMED(コンパメッド)2019」出展報告

【「COMPAMED2019」概要】

「COMPAMED」は「医療機器」に関する加工技術や部品材料、ソリューションを持った企業が集結する世界最大級の展示商談会。医療機器のエンジニアを中心に、世界各国から関係者が来場する。本年 11 月、デュッセルドルフにて 4 日間に渡って開催された。当協会は一昨年度に続き、医療機器関連市場への参入・取引拡大に意欲を持つ大田区企業 4 社と共同で出展。

(※過去出展年：2013 年・2014 年・2015 年・2017 年)

- 名称：COMPAMED 2019 国際医療機器加工技術・部品材料展
- 会期：2019 年 11 月 18 日 ～ 2019 年 11 月 21 日
- 会場：メッセ・デュッセルドルフ
- 出展者数：800 社・展示面積約 13,000 m²
- 来場者数：約 20,000 人



※同時開催展「MEDICA」(メディカ)について

COMPAMED と同じ期間・同じ会場で開催される「医療機器そのもの」の展示商談会。5,000 社以上の医療機器関係企業が出展し、12 万人を超える来場者がある。医療機器メーカーの技術者・購買担当などが出展しつつ、COMPAMED に新たな技術・ソリューションを探しに来るため、マッチング精度の高い商談が望める。

(※大田区企業の Xenoma が MEDICA に出展していた)



【出展出張目的】

ドイツ デュッセルドルフにて開催される医療機器技術・部材展示会「COMPAMED2019」への大田区企業との共同出展及び関係機関との商談・打合せ。

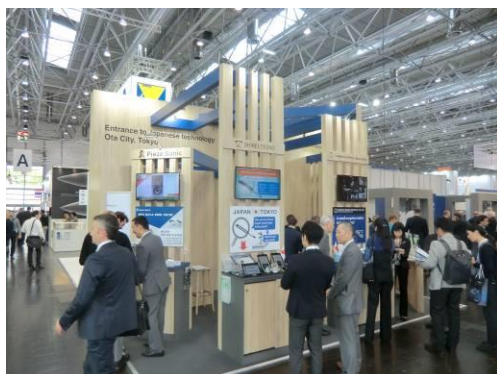
出張 報告書

【出張行程】

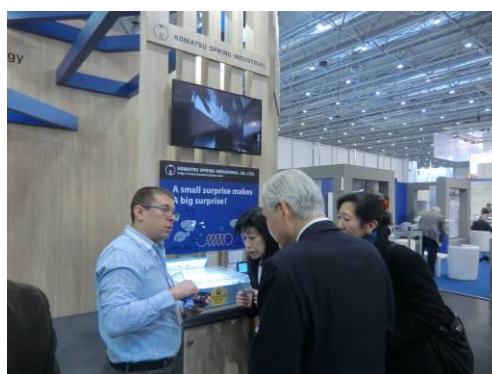
日程	曜日	行程
11 月 16 日	土	フライト NH209 便 成田 10:55 発 デュッセルドルフ 15:05 着
11 月 17 日	日	9:00 ホテル集合 → 会場へ移動 10:00 会場着 ホール 8B / C04 にて設営・装飾確認・展示準備 10:00 通訳バツフェルト様 ご来所 → 入場パス手渡し
11 月 18 日	月	10:00~18:00 展示 1 日目 19:00~出展企業 懇親会@シューマッハ
11 月 19 日	火	10:00~18:00 展示 2 日目 17:00~日欧産業協力センターセミナー(堀田係長プレゼンテーション) @ホール 8B/G40
11 月 20 日	水	10:00~18:00 展示 3 日目
11 月 21 日	木	10:00~18:00 展示 4 日目 18:00 頃 撤収・日通集荷
11 月 22 日	金	13:00~14:00 極東貿易打合せ フライト NH210 便 デュッセルドルフ 20:00 発 成田 15:30 着(翌日)

出張 報告書

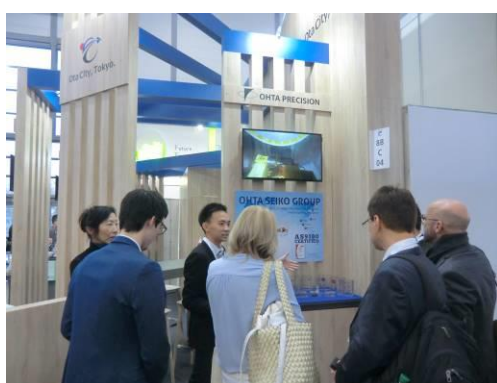
【会場の様子】



大田区ブース遠景



ブースでの商談の様子 1



ブースでの商談の様子 2



ブースでの商談の様子 3



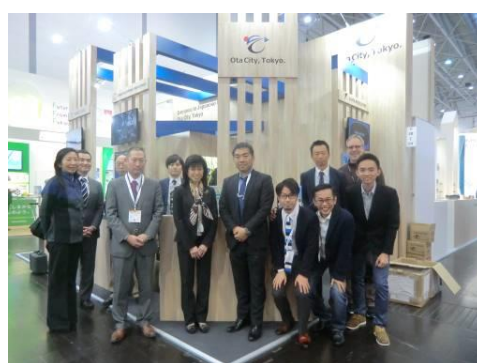
商談席の風景



東京都ブース(大田区ブースすぐそば)



長野(信州)ブース (大田区ブース向かい)



関係者集合写真※ドイツ JETRO に出向している産業振興課松居氏からは現地コーディネーターとともに会期中種々のフォロー・マッチングを行っていただいた

出張 報告書

【出展者アンケート結果】

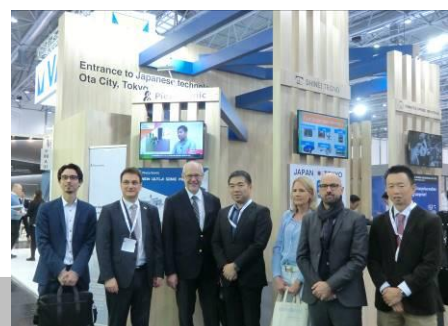
企業名	出展理由	商談件数	うち可能性の高い商談	出展満足度
A 社	・医療関係ニーズの探索	21 件	8 件	満足
	【コメント】 シンガポールの展示会「Medical Manufacturing」への参加をお勧めします。大田区製造業にとって良い機会になると思います。			
B 社	・海外市場開拓	58 件	NA	やや満足
	【コメント】 ・通訳の方がとても良かった。不在時の対応も安心して任せられ、名刺・要望の記録も完璧でした。			
C 社	・海外調査	23 件	3 件	ふつう
	【コメント】 見積りや条件を含めて、成約可能性が高い商談となった。 帰国後に見積り提出の約束をした企業が何社かある。			
D 社	・販売先の開拓	42 件	19 件	満足
	【コメント】 通訳のサポートが素晴らしかったです。 また次回がありましたらお願いしたいと思います。			
合計		144 件	30 件	81.25 点

(満足度：100 点満点中)

【出展業務以外の商談・活動】

11 月 18 日(月) ドイツ エッセン市一団 来訪

ドイツ NRW 州の都市であるエッセン市の一団がご来訪。
エッセン経済振興公社や同市に所在する医学系大学の教授
らからなる訪問団である。本年度、大田区議会の議員が同



エッセン市一団

出張 報告書

市を訪問した経緯があつてのご来訪であつた。大田区企業の技術は興味を引いたようで、各社の展示を時間たっぷり使って見学していた。

11月19日(火) 日欧産業協力センター セミナー登壇

渡航前に「日欧産業協力センター」が同センターのブース内で行うセミナープログラムにおいて、当協会への登壇依頼があり、現地でのプレゼンテーションを行った。

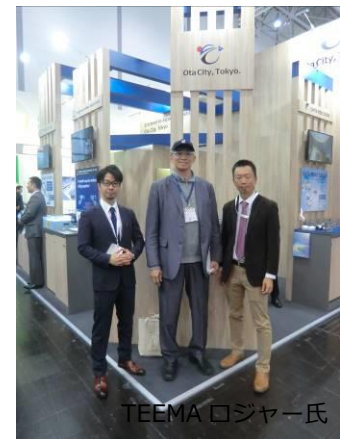
欧州系を中心とした20～30名程度の聴講者に対して、大田区の産業構造や今回出展している大田区企業4社の製品・技術を中心に紹介。



プレゼンテーションの様子

11月20日(水) 台湾区電機電子工業同業公會(TEEMA) 来訪

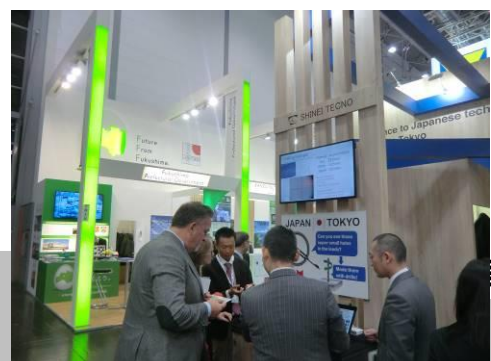
台湾最大級の工業団体「台湾区電機電子工業同業公會」(TEEMA)が来訪。同じ会場で展示している台湾パビリオンの視察に来ていたとのこと。当協会のTEEMAとの関係は深く、2014年には同会の団体による大田区訪問の受入れ、2018年には同会の70周年式典及び主催展示会に参加した他、当協会主催の「研究・開発フェア」にTEEMAが台湾企業と出展するなど、双方の往来がある。今後も同様の取り組みを含め、継続的に連携していくことを確認した。



TEEMA ロジャー氏

【所感ほか】

世界規模の医療機器展であり、来場者にはベラルーシやチュニジアといった初めて接点を持つような国からの来場者もあった。大田区企業の展示に興味を持つ来場者は、ある程度明確なニーズを持っている人が多かった。



出張 報告書

中には情報収集・興味本位という来場者もいたが、多くは具体的な知識を持った来場者で、商談 1 件 1 件の重みが他の展示会とはまったく違う印象を受けた。大田区企業も同様の感想を持っており、手応えを感じる商談が多かったようだ。

会場を見渡すと、大規模なパビリオンやスペースを大胆に使ったデザインブースが数多くあった。大田区ブースのデザイン・装飾は木材を使用した風合いのあるブースで、派手ではないが一定の存在感を発揮できていたと感じる。少し離れた場所にある「東京都」のブースも木目調のものであった。一方、大田区ブースの真正面に居を構えた信州のブースは、既成の展示台を並べた程度のものであり、他のブースに比べて見劣りしていた。全体としてブースのデザインに関しては欧米企業の方が洗練されており、日本を含むアジア勢は後塵を拝している。参考となるブースの研究や、設営・装飾業者との連携強化なども今後重要になってくるだろう。



大田区企業の展示でも注目を集めていて、足を止める来場者がもっとも多かった。加工技術だけでなく「製品」があるというのがやはり強い。出展企業 A 社のモーターは利用用途を特化した打ち出し方をしていたため（実際は他にも利用できる）、MRI 機器関連の来場者に強く響いている様子であった。同社の社長も丁寧かつ熱心に商談しており、空いた時間には JETRO のプログラムで同社の支援に来ているコーディネーターを活用し、有望な営業先であるブースへのアポイント打診を行っていた。



一方、加工企業にとっては避けがたい問題であるが、展示の内容や方法を工夫すると来場者に興味を持てるものとなるだろう。

以上